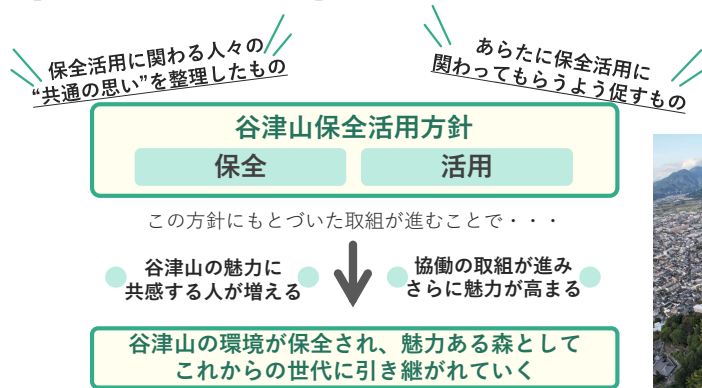


1. 方針とりまとめの目的

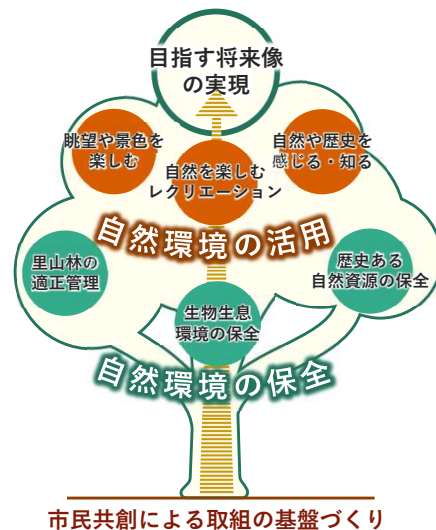
- 谷津山は身近に自然や歴史を楽しめる里山で、最近では東静岡駅周辺のまちづくりや谷津山でのハイキングイベント等を通じて、谷津山の保全や活用の機運が高まっています。
- 谷津山の保全や活用に関わってきた市民団体の人々とともに、「谷津山保全活用検討会議」を立ち上げ、谷津山の将来像や取組の方向性を検討し、谷津山保全活用方針として取りまとめました。

【谷津山保全活用方針の役割】



3. 谷津山の保全と活用の考え方

- 自然環境を良好に保全するとともに、市民が身近に親しめる緑地として活用し、谷津山の魅力を高めます。
- 持続的に保全・活用が図られるよう、市民・事業者・行政等の共創の基盤をつくりながら取り組みます。



Point 保全の考え方

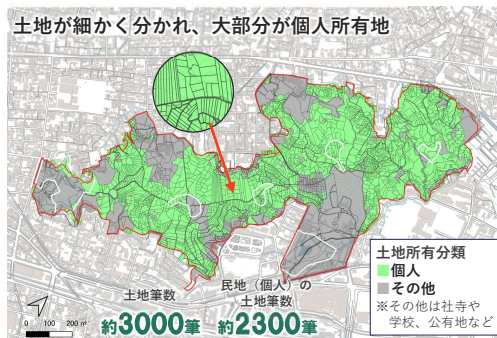
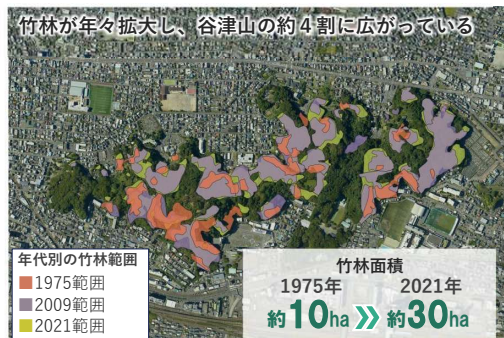
- ① 里山林の健全な管理と放任竹林対策の推進
- ② 身近な動植物の生息環境の保全
- ③ 歴史資源と一体となった自然環境の保全

Point 活用の考え方

- ① 地形を活かした眺望の確保
- ② 自然に親しみ散策や滞在を楽しむ環境づくり
- ③ 自然や歴史を体験・学ぶ場としての活用

2. 谷津山の現状と課題

- まちなかに近く、尾根沿いからの眺望が楽しめるとともに、古墳や寺社などの歴史資源も有しています。
- 一方で、お茶や果樹などの農地利用から次第に管理の手が入らない土地が増え、竹林が拡大しています。
- 細かく分かれた土地の大部分は民地（個人所有）であるため、保全や活用の手が届きにくい課題があります。



※2024年8月時点の登記簿情報より作成

4. 目指す将来像

- 谷津山の魅力である自然環境と人々の関わりによって形づくられてきた歴史に、気軽にふれることができるまちなかの森として保全活用していくことを目指し、将来像を設定しました。

自然と歴史にふれる まちなかの森 谷津山 URBAN FOREST YATSUYAMA

谷津山は、市街地や鉄道からも近いまちなかの森で、気軽に低山登山を楽しむことができます。

また、尾根沿いの散策路からは、市街地だけでなく、富士山や南アルプス、駿河湾彼方の伊豆半島までバラエティに富んだ眺望を楽しむことができます。

さらに、谷津山古墳や愛宕岩、寿桂尼の墓所など、貴重な歴史資源が残るエリアでもあります。

これらの良好な環境を維持し、貴重なみどりの地域共有資産（グリーンインフラ）として、保全活用を官民共創により取り組む「里山公園」化を進めていきます。



5. 基本方針と具体的な取組

● 将来像を実現するために、3つの基本方針と具体的な取組を設定します。

基本方針1 谷津山の自然や歴史を守り育てる

取組① 放任竹林対策や里山環境保全の推進

- 管理放棄された竹林を適正に管理し、谷津山の植生や美しい景観を再生します。

取組② 学びや体験による保全活用の意識醸成

- 各団体の活動や市事業を通じて、谷津山の自然環境の現状や課題を体験・学習できる機会を設け、保全活用に対する理解を深めていきます。

取組③ 一体的な保全活用に向けた地権者との連携

- 地権者の土地の所有や管理意向を把握し、保全活用が可能な土地を拡げていきます。



基本方針2 みはらしスポットと登り口の魅力向上

取組① 眺望の確保

- 尾根部や都市公園となっている頂上部から、富士山など周辺の景観資源が見えるよう支障となる竹木を整えます。

取組② 自然を感じ、親しむことができる環境づくり

- ゆったりと過ごしながら眺望や散策を楽しめるようトイレや休憩施設等の設置を検討します。

取組③ 分かりやすくアクセスしやすい登り口

- 散策ルート案内看板等を設置して登り口であることを分かりやすくするとともに、遠方から気軽に谷津山を訪れることができるよう駐車場等を確保します。



基本方針3 散策して楽しめる道づくり

取組① 自然を楽しむ沿道景観の創出

- 地形や植生に応じ、視界の開ける場所や緑が覆い茂る場所など、多様な自然環境の姿を楽しめる沿道景観を整えます。

取組② 安全で散策しやすい道の整備

- 道幅がせまく、急傾斜地である場所では、利用者の安全を確保できるように散策路の幅員確保や転落防止対策に取り組みます。

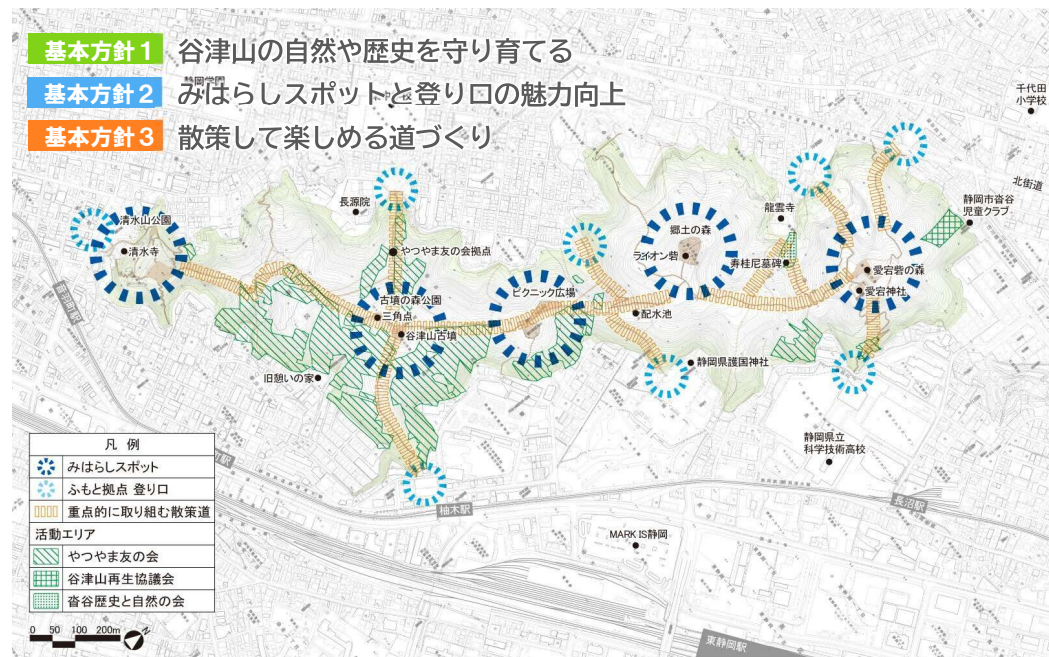
取組③ 安心して楽しめる案内サインの充実

- 谷津山の魅力や自然環境を解説する案内サインや、利用者が安心して散策できるようルート案内板を充実させます。



6. 重点的に取り組む区域

● 将来像を実現するために、既存公園や散策道周辺、市民団体の活動地などを「重点的に取り組む区域」として設定します。この区域を中心に、基本方針に沿って具体的な取組を市民共創で実施していきます。



7. 保全活用の推進体制

● 目指す将来像の実現に向けて、市民団体や地域住民、事業者などと連携して、谷津山の魅力・価値の向上や保全活用の下支えに取り組んでいきます。

